電算・情報関係部課長会議　会議録

１　日　時　令和６年７月２９日（月）午後１時３０分から午後２時１３分まで

２　会　場　愛知県自治センター　４階大会議室

３　当番市　北名古屋市

４　出席者　【県】総務局総務部情報政策課　福井　武志　課長補佐　以下４名

【市】名古屋市総務局行政ＤＸ推進部

デジタル改革推進課　松岡　由紀彦　課長　以下３７名

【市長会事務局】行政係　成瀬　博幸　係長

財政係　武本　恵　係長

５　内容

⑴　開会

【事務局】

それでは定刻となりましたので、ただいまより電算・情報関係部課長会議を開会します。本日は、業務ご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。また、お忙しいところご臨席賜りました愛知県の皆様方には、心よりお礼申し上げます。

さて、愛知県市長会では 15 部門に分けて各種部課長会議を開催しており、そのうちの一つがこの電算・情報関係部課長会議です。

これらの会議は、各部門における課題等につきまして、意見交換や情報提供を行い、また、必要に応じて、愛知県の方からご助言などもいただく、といったことを目的として、例年開催しております。

本日の会議においても、積極的に議題をお持ち寄りいただきましたので、日頃の業務の参考としていただければ幸いです。

⑵　あいさつ

【事務局】

それでは、県を代表しまして、総務局　総務部　情報政策課　情報企画グループ　課長補佐　福井様　よりご挨拶をいただきます。

【総務局総務部情報政策課　情報企画グループ　福井課長補佐】

ご紹介にあずかりました情報政策課の福井と申します。私から簡単ではございますが、挨拶をさせていただきます。

皆様には、日頃から県の情報政策の推進につきまして、格別のご協力とご理解を賜りまして厚くお礼申し上げます。

また先日、株式会社イセトーの情報漏えい事件に関係した照会を、短期間でお願いしたところ、素早い対応をいただきました。重ねてお礼申し上げます。

さて昨今生成 AI やクラウドサービスなどの情報通信技術は進化のスピードがますます速くなってきております。各市におかれましては急速に進展する情報通信技術の動向の把握や業務への活用の検討・実装について、日々大変なご労苦をなされていることと存じます。

また情報システムの標準化・共通化に向けた取り組みにつきましても、ご尽力をいただきまして感謝申し上げます。

本日の会議は県内各市の情報主管課の皆様が、情報政策の課題について議論される大変貴重な機会と伺っております。

この会議が有意義なものになるよう期待するとともに、県といたしましても、今後の情報政策の取り組みに大いに参考にさせていただきたいと存じます。

今後も県の情報施策につきまして、引き続き皆様のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

⑶　議題

【事務局】

ありがとうございました。ここからは資料に沿って進めさせていただきます。

本日出席者名簿に変更がありましたので机上配付しております。長久手市さんが欠席となりました。不足資料がございましたらお申し出ください。

それでは次第 3 の議題に入る前に、前回会議におきまして、建政番号順により

今年度の会議進行の議長当番市として北名古屋市さんに決定しております。

北名古屋市情報推進課長、織田様、よろしくお願いいたします。

【議長】

〇あいさつ及び進行方法の説明

今回議長として議題の進行を務めさせていただきます、北名古屋市役所情報推進課の織田と申します。よろしくお願いいたします。この後、議題の協議に入らせていただきます。

各市の状況につきましては前もって配布していただいておりますので、各市の状況の発表はとり行わず、議題ごとに

・　提案市の趣旨説明

・　議長から取りまとめ状況の説明

・　各市の補足説明がある市は補足説明

・　その他市の状況を確認したい場合は聞かせていただく

その後、議題提案市において、これで良いかなどを確認させていただき、最後に必要に応じて愛知県の方からコメントをいただくような順番で進めさせていただきます。

またこの会議は要望の場ではなく、情報や意見交換の場として開催するものになりますので、皆様からの活発な意見と情報共有をお願いいたします。

それでは議題1、Windows11化対応について、提案者の岡崎市さんより趣旨説明をお願いいたします。

●議題１　Windows11化対応について（岡崎市提出）

【岡崎市】

現在本市では全てのイントラ端末でWindows10を利用しております。

Microsoft社から、2025年10月14日にWindows10のサポートを終了するとアナウンスされているため、Windows11へのアップグレードを計画する計画しております。

これまでは端末の更改に合わせてアップデートを実施しておりましたが、今回

は数多くの現行端末を一定期間に円滑に実施する必要があり、OS アップグレードによる各システムやソフトウェア等への影響が懸念されます。そこで皆様の団体ではどのように対応されたか。またはされる予定かご教示ください。

【議長】

それでは岡崎市さんからの提案の各市の回答については、資料 1-1、1-2 のところでそれぞれまとめておりますが、まず Windows11 の導入状況については、「導入実績あり」と回答した市は 8 団体と少なく、「導入予定あり」と回答した市が 23 市、「検討中」と回答した市が 8 市という状況になっております。また導入時期につきましては令和 6 年度から対応する団体も多く、令和 7 年度は 8 月～9 月で予定している市が多い状況となっております。

アップグレード方法については、物理端末に入れ替えで対応する市が 22 市と多い状況で、その他「WSUS」や「資産管理システム」を利用する方法や「個別にアップグレード」を検討しているという状況でございます。

グループポリシーオブジェクトによる適用想定と端末の制御については OU を利用した管理や適用を検討している市が多く、セキュリティに関する設定やシステムに関する共通の設定を基本に制御している状況でございます。

アップグレードの展開方法や検証期間、周期についてはアップデートの負荷を分散して適用することを検討している市が多く、検証期間は 2 ヶ月～3 ヶ月程度を予定している市が多い状況となっております。

周期につきましては、各市状況は異なりますが稼働要件やセキュリティ状況を確認しつつ、サポート終了までに実施を予定している市が多い状況でございます。

またその他につきましては記載内容をご確認いただきたいと思います。このように各市でご回答いただいているところでございますが、補足説明をしたいという市がございましたら挙手をお願いいたします。

【東海市】

先ほど議長さんよりご説明いただいたところですが、東海市の方から、当初より回答しました内容に誤りがありましたので、訂正させていただきたいと思います。

⑵のアップグレード方法において、「SKYSEA Client View」を使用してサイレントインストール予定と回答させていただいておりますが、正しくは「物理的に端

末入れ替え」で実施でございます。

それに伴いまして、⑶、⑷、⑸、⑹の内容につきましては削除させていただきたいと思っております。謹んで訂正するとともにお詫び申し上げます。よろしくお願いいたします。

【議長】

他はよろしかったでしょうか？

それでは補足説明は他はよろしかったというところで提案者である岡崎市さんの方で特に伺ってみたい市はございますでしょうか？

【岡崎市】

豊橋様と豊田市様にお伺いしたいんですけれども、この OS アップグレードにあたりですね、現在利用しておりますシステムによってはベンダーから Windows10 へは対応しているが、Windows11 への対応予定がない、または対応するためには費用がかかるというアナウンスもあります。

こうした状況においてですね、各団体では基幹業務システムの標準化・共通化に取り組んでいるところと思いますが、標準化前のシステムでは Windows11 に非対応で、標準化後システムは Windows11 に対応するというようなものがありますでしょうか？もしこのようなシステムがございましたら、標準準拠システム本稼動前に端末を Windows11 化するにあたり、どのような対策がとられているかご教示ください。

また、一時的に Windows11 と Windows10 が混在する状況は避けられないと考えており、管理面での負担・煩雑さ、いろいろと苦慮することが想定されておりますが、この点についても、どのようにご対応される予定があるかあわせてご教示ください。

【議長】

それでは追加の質問というところで、豊橋市さんの方からよろしいでしょうか？

【豊橋市】

今のご質問ですが、本市が使用している標準化前のシステムは Windows 10・11 の両方に対応しておりますので、特別な対策というのはございませんが、一時的に Windows10・11 の混在という状況は同じですので、管理面での煩雑さは同じく

苦慮することという風に考えております。

【議長】

ありがとうございました。

岡崎市さん、こちらについては何か追加で確認したい内容とかがございましたらお願いいたします。

【岡崎市】

結構です。ありがとうございます。

【議長】

それでは次、豊田市さんの方よろしいでしょうか？

【豊田市】

標準化前のシステム、基幹系のシステムはメインフレームがホストでありますので、クライアントPCに入れるエミュレータソフトの方が、現在使用している他ソフトがWindows11に非対応であるという課題があります。ただ既に代替のエミュレータソフトを見つけて検証を進めておりますので、実用に至る見込みがついております。エミュレータソフトの入れ替えという作業は発生しますが、標準化要因でのWindows 10・11の混在は発生しないかなと考えております。

基幹系以外のシステムで、各課個別で入れているシステム等については、Windows11が今のところ非対応というものはおそらくあるように聞いておりますので、岡崎市さんと豊橋市さんと同様にWindows10・11と混在期間が発生しうるというのはやむを得ないかなというふうに考えております。

以上です。

【議長】

ありがとうございました。岡崎市さん、こちらについては何か追加で確認したい内容はよろしかったでしょうか？

【岡崎市】

結構です。ありがとうございます。

【議長】

それではこの議題に対して他の市の方で追加で伺ってみたい市がございましたら挙手の方をお願いいたします。

特にないようですので、県の方からこの議題についてコメントなどがありましたらご発言の方をよろしくお願いいたします。

【愛知県情報政策課ネットワーク管理グループ　松岡】

県の状況をお話しさせていただこうと思います。

一つ目の導入予定でございますが、2023 年度に業務システム導入アプリケーション等がないかを机上で確認いたしまして、ないことを確認しましたので、うちはパソコンが 5 世代ありますが、そのうちの今年度更改分、全体で見ると 7%ぐらいの台数になりますが、それを Windows11 で更改いたします。

実機での検証確認に関しては配布前に済ませる予定で、３ヶ月ぐらいかける可能性があります。

机上で確認した後にお試しでやったところで発覚したこととして、アップグレード版だと一部では動かないということがありました。Windows11 対応を謳っているが Windows10 からのアップグレード版では動かないというものが世の中にあるということがわかりまして、そういうものについて他にもないかというのを検証してまいります。それは今年度の 10 月頃からやろうかなと思っております。

問題があった場合の対応については、個別に解決していくしかないので、先ほどエミュレータソフト代わりのものを探されるというお話もありましたが、そういったような対応を順次個別にやっていくということにしております。

配信方法ですけれども、県は「Tanium」という EDR ツールを持っておりまして、これが配信機能を持っております。非常に効率の良い配信をするのでこれでやる予定です。

それからグループポリシーに関しては概ねないと思っておりますが、本当にやってみないとわからない部分が多いので、皆さんと同じようにおそらくセキュリティ関係が多いのですが、どこに当たるのかは検証期間の 3 ヶ月で見るしかないかなと思っています。

それからアップグレードは一斉にやります。今年度入れる 5 世代のうちの 1 世代は Windows11 で入れますが、残りの 4 世代は一気に配信する予定です。

ということで混在期間はないということになります。今年の分の混在期間はあ

りますが。

それからアップデート周期についてですが、これに関しては OS のバージョンサポート周期 36 ヶ月と把握しておりますのでおおむね 2 年に 1 回ぐらいでいいのかなと思っております。ありがとうございました。

【議長】

それでは議題 1 につきましては以上とさせていただきます。

●議題２　Microsoft365 の導入と運用方法について（豊田市、北名古屋市提出）

【議長】

続きまして議題 2 の Microsoft365 の導入と運用方法につきまして、提案者であります、豊田市さんと北名古屋市より趣旨説明の方をお願いいたします。それでは、豊田市さんの方からお願いいたします。

【豊田市】

豊田市は現在 Microsoft365 apps for enterprise を契約をしております。買い切り版の Office がなかなか将来性が見えないところがありまして、Microsoft365 Apps for enterprise をとりあえず入れて契約をしているところでございますが、今後 Teams や SharePoint 等を活用していきたいので、E3 や E5 といった上位のプランに移行することを検討しています。E3 と Teams の契約がばらけたという話が 4 月にはありましたが、既に提案をもらっているところには E3 として売れるというような話も聞いているので、上位プランへの移行を検討しているところです。検討する中で費用面や、Microsoft365 への接続方法で、接続回線をあいち情報セキュリティクラウド経由とかではちょっと難しいのかなっていうところがあり、課題が出てきているため、参考とさせていただきたく各市の状況についてご教示いただきたいというところでございます。

【議長（北名古屋市回答)】

それでは続きまして北名古屋市よりも説明させていただきます。

北名古屋市につきましては、端末で使用している Office 製品については、

Office2016 をメインで使用しております。延長サポートの方が 2025 年 10 月 14 日で終了するというところで、次期 Office 製品の方を検討しております。

本市の状況や懸念事項については議題の通りとなりますが、Microsoft365 を含めて、Office 製品等を検討する上で各市の状況を参考にさせていただきたく、伺うものでございます。

それでは皆様からご回答いただきました資料については資料 2 にまとめております。Microsoft365 の利用状況でございますが、予定を含め利用すると回答した市が 16 市、検討中が 15 市、利用しないが 7 市という状況でございます。

契約プランについては Microsoft365 apps for enterprise をほとんどの市が回答しており、その他につきましては E3 等を検討しているという状況でございます。

主な接続方法につきましては、自治体情報セキュリティ向上プラットフォーム経由が 13 市、LGWAN 接続系からのローカルブレイクアウトやプロキシ経由で認証を行う市が 12 市という状況でございます。

共有 PC での利用状況やライセンス管理につきましては、職員数分のライセンスを購入し、割り当て変更等を行って対応している市が多く、導入検討にあたり工夫した事例につきましては、契約関係で長期の単価契約等を行っている市が複数団体ある状況でございます。

その他につきましては、各市状況が様々でございますので記載内容をご確認いただきたいと思います。

各市から回答をいただいているところではございますが、何か補足説明をしたい市がございましたら挙手の方お願いいたします。

特に補足説明はないということでありましたら、提案市であります豊田市さんの方から特に伺ってみたい市はございますでしょうか？

【豊田市】

豊川様に追加でご質問させていただければと思いますが、現在は Microsoft365 apps for enterprise を利用中で、接続方法が LGWAN 系からのローカルブレイクアウトされているとのことですが、Microsoft365 apps for enterprise を利用していらっしゃるということですので通信については、認証だけの通信が発生して

いる状況なのかなと思いますが、こちらの自治体情報セキュリティ向上プラットフォームを経由して認証されるのではなくて、ローカルブレイクアウト関係を構築されているというところが、何かこの自治体情報セキュリティ向上プラットフォームよりも何かコスト的に良い面があったのかっていうことですとか、あるいはまた将来的にTeams等アップグレードを想定した上でローカルブレイクアウト環境を先んじて構築されたのかといったところをお伺いできればと思います。よろしくお願いします。

【議長】

それでは豊川市さんよろしくお願いいたします。

【豊川市】

本市の場合ですけれども、自治体情報セキュリティ向上プラットフォームは、実は令和4年度からローカルブレイクアウトの対応をしたんですけど、うちの場合はMicrosoft365自体は令和2年度から利用していて、認証はそれを選択せざるを得なかったっていうのが実際のところです。

ただ、かなりのお金をかけてやってる状況でして、今年度が最終契約年度になるもんですからこの後どうするのかはちょっと今検討中という形になっております。

【議長】

それでは豊田市さんこちらについては何か追加で確認したい内容はよろしかったでしょうか？

【豊田市】

大丈夫です。ありがとうございます。

【議長】

それではこの議題のですね、もう一つの提案市である北名古屋市からも質問をさせてください。

北名古屋市にも、Microsoft365の認証についてをどのようにするかというところも検討をしておりまして、名古屋市さんにお尋ねしたいです。先ほどの豊田市さんの内容と重複するかもしれませんが、名古屋市さんの方もMicrosoft365の認

証プロキシ経由でオフロードをして、運用されてると思うのですが、導入した経緯だとか理由だとかを伺えたらお聞かせ願えればと思います。よろしくお願いいたします。

【名古屋市】

回答の方ですが、運用の導入経緯といたしましては、Microsoft 製品がデバイスライセンスからユーザーライセンスに切り替わるということに伴いまして、インターネットへの認証の通信が必要になったためにこのような導入になりました。またMicrosoft365 に関しては、セッション数が多いものですから、他の通信を圧迫することになりますので、我々は β'モデルに移行することを考えているのですが、インターネットに直接通信できる場合にも通信を分離する必要があるというふうに考えたためそのような方法をとっている次第であります。

【議長】

名古屋市さんありがとうございました。

それではもう一つだけ追加で質問をさせていただきたいのですが、Office 製品の利用状況で、Microsoft365 を利用しないと回答している一宮市さんの方に参考でお尋ねをしたいのですが、Office 製品はどのようなものを利用して更新や運用については、どのように検討されているのかをお伺いできればと思います。よろしくお願いいたします。

【一宮市】

皆さんMicrosoft365 をかなり使われているということで、一宮市の方も以前からどうするかっていう話はしてるんですけど、今のところ具体的に導入という決定まではいたってない状況です。従来、Office 製品については従来型のパッケージのものを端末の調達に合わせて購入してるというのが実情でして、現状端末ごとに世代も異なりますので、そこを実際使ってるのはOffice2019、2016、2013 とバラバラの状態になってます。Microsoft365 を導入しようか悩んでるところですが、やっぱりコスト的にもちょっとなかなか負担大きいのかなというところがあったもんですから、今のところまだこの状態ということになります。

【議長】

一宮市様ありがとうございました。

それではこの議題に対して他の市の方で何かございましたら、挙手の方をお願いいたします。

それでは特にないようですので県の方からこの議題についてコメントなどがありましたらご発言の方をよろしくお願いいたします。

【愛知県情報政策課　インターネット運用グループ　志水】

愛知県ではβ'モデルを採用しておりますので、少し違う部分もあるかとは思いますが、愛知県の状況をお伝えします。

愛知県では、2024 年の 1 月に Microsoft365 E3 を導入しグループウェアの運用を開始しました。

Microsoft365 の接続につきまして、サインインのための認証については、あいち情報セキュリティクラウドのクラウドプロキシを経由して認証していて、その後の Microsoft365 の通信は専用の閉域網を利用しています。

ライセンスについて、専用のパソコンが配備されている職員に対しては Office の利用有無は関係なく、原則 E3 ライセンスを割り当てています。

また、一般職非常勤職員等については、希望があれば E3 ライセンスを付与しております。

ライセンスの調達に当たっての苦労した面は、Microsoft365 Apps for enterprise から E3 への切り替えに当たっての話にはなりますが、県は 2022 年度に予算要求を行い、その際に E3、他のクラウドサービス、オンプレ版のグループウェア等と比較しまして、その中で機能や費用を比較検証したり、一部の職員に実際に利用してもらって使用感のアンケートをもらったりして、費用対効果が一番高いということで E3 を導入するに至りました。

【議長】

ありがとうございました。

それでは議題 2 につきましては以上とさせていただきます。

続きまして議題 3 専用紙大量印刷の印刷作業について提案市である清須市さんから趣旨説明をお願いいたします。

●議題３　専用紙大量印刷の印刷作業について（清須市提出）

【清須市】

今回専用紙大量印刷の印刷する作業についてということで議題を挙げさせていただいております。

本市では市民税当初の通知書、納付書の印刷や督促状などを市民送付書類の専用紙の印刷を、情報システム担当で実施しております。

補足ですが、今年度の機器の更新で連続紙のプリンターの機器の更新がありまして、今までお願いした国産メーカーの方が新規受注をやらないということで、外国のプリンターで調達を予定してるんですけども、印刷スピードがかなり落ちてしまうということがありました。

そういった中で事務の見直し、事務の工程がだいぶ変わってくる部分もありますので、見直しを検討しているところで今回標準化への置き替えもありますし、アウトソーシング化や封入・封かん作業も含めたBPO化も考えているところでございます。

そこで各市において、印刷作業をどのように運用しているかを、ご教授いただきたいとお願いしたものです。

【議長】

それでは清須市さんからの提案の各市の回答については資料3-1、3-2のところでそれぞれまとめておりますが専用紙大量印刷を外部委託している業務の部分につきましては33市で外部委託を行っているという状況でございます。

外部委託している業務のうち契約主体化については各所管課で契約している市が多く、25市という状況でございます。

業務内容については税務関係の通知や納付書など各市様々でございますので記載資料をご確認ください。

外部委託の割合や少量印刷対応の連続ページプリンターの台数については、外部委託の割合は80%以上の市が多く、差し替えや少量印刷については自庁での対応が多い状況となります。

また連続ページプリンターの台数については、1台での運用とプリンターなしの市が多い状況でございます。

外部委託していない業務の大量印刷の実施主体については、外部委託している業務と同様、各所管課が主体となっている市が多く、24市という状況でございます。

アウトソーシング化の検討については18市で検討している状況で、外部委託や自庁印刷以外の運用方法については、ほとんどの市が該当なしという状況でござ

います。

こういった各市から回答をいただいているところでございますが、何か補足説明をしたい市がございましたら、挙手をお願いいたします。

【江南市】

出席者の訂正も含めてお願いしたいと思います。企画課課長の矢橋が出席の予定でしたが、企画課 DX 推進グループのリーダーの浅野が本日出席させていただいております。

補足説明というところなんですが、江南市の資料議題 3 の資料につきまして、外部委託している業務があるというところでございますが、自庁が 0.2%、外部委託 99.8%と記載されておりますが、こちらは逆で、自庁が 99.8%、外部委託が 0.2%ということで訂正をお願いしたいと思います。

【議長】

ありがとうございました。

他はよろしかったでしょうか？では、特にないということでありましたら提案市である清須市さんの方で特に伺ってみたい市はございますでしょうか？

【清須市】

追加でお願いしたいんですけども、今回印刷の外部委託の割合が多くを占めていて、連続紙ページプリンターを保有していなくて自庁で差し替えや少量印刷を行っている市でですね安城市様と田原市様、弥富市様ですね、多くて申し訳ございませんが 3 点をお伺いしたいと思います。

① 自庁で差し替え分を印刷する際どのようなプリンターか。

またそのプリンターはシステムベンダー指定のプリンターか。（例：カット紙用のプリンターを調達するのか、A4 や A3 の普通紙を印刷する通常のプリンタの設定を変更して使用しているか）

② 外部委託契約はシステムベンダーと契約しているか、それとも直接印刷業者と契約になるか

③ 印刷する際の印刷業者へのデータの受け渡しの方法は、どのような方法で行っているか

以上３点よろしくお願いいたします。

【議長】

ありがとうございます。

それでは3点というところで、まず安城市さんの方からよろしかったでしょうか？

【安城市】

まず一点目のプリンターの関係ですが、カット済みの連続紙に対しまして、A3やA4の普通紙を印刷するプリンターの、通常のプリンターを用いまして、手差しの設定で印刷の方をしているというのが一つ目の回答です。

2点目の契約の関係ですが、こちらはシステムベンダーさんと契約をしておりまして、印刷業者さんにつきましてはそのシステムベンダーさんからの再委託というような形でお願いをしております。

それから3点目のデータの受け渡しになりますが、本市のデータセンター内のですね、ファイルサーバーとその印刷業者さんとの間で専用線の回線を使って端末の方のを結んでおりまして、この中でですね、データの受け渡しをしておるというような状況で今やっております。

【議長】

ありがとうございました。それでは次に田原市さん、よろしかったでしょうか？

【田原市】

どのようなプリンターでの印刷かということでございますが、通常利用しておりますレーザープリンターでこれは安城市さんと同じですね、手差し印刷にしております。

システムベンダー指定のものではございませんが、大量印刷の推奨というような機器でもありますので、そちらの方で対応しております。

2点目について直接か、ベンダーかということですが、こちらシステムベンダーとの契約をしております。

それから3点目どのような方法でということでございますが、こちらも安城市と同様なんですが、システムでのデータ作成処理後にですね、ベンダー担当者がデータセンターにあるサーバーからデータを取得しまして、ベンダーから印刷業

者へデータを提供しております。

それからベンダーと印刷業者間は専用回線を引いていますので、その回線を利用しているといった状況でございます。

【議長】

ありがとうございました。それでは弥富市さん、よろしいでしょうか？

【弥富市】

安城市さんと田原市さんとほぼ同様の回答となりますが、一点目でございますがプリンターの関係ですね、システムベンダーの方が外字の印字認証等を確認した指定のプリンターを活用しておりまして、普通紙を印刷する通常のプリンターを使用しております。

2 点目につきましても、システムベンダーと契約を行っております。

こちらの方は印刷業者とシステムベンダーから再委託の方を行っております。

3 点目の方でございますが、こちらにつきましてはシステムベンダーの方から専用回線を活用してファイルの方をですね、転送して行っております。

以上でございます。

【議長】

ありがとうございました。

それでは他に何かこの議題に対して伺ってみたい市がございましたら挙手の方をお願いいたします。

よろしかったでしょうか？それでは特にないようですので、県の方からこの議題に対してコメントなどがありましたらご発言の方をお願いいたします。

【愛知県情報政策課　システム運用グループ　土井】

県の状況説明を簡単に説明するという形でコメント等させてください。

愛知県の情報政策課としましては庁内で仮想基盤のシステム、庁内クラウドつまりプライベートクラウドですが、あちらの一環として連続用紙プリンターと普通紙のプリンターをそれぞれ 2 台ずつ入れております。こちらのシステムの運用委託は常

駐でやっていただいておりますが、こちらの運用委託の一部として印刷業務も面倒見ていただいているという形での外部委託という形をとっておりますので、どこか外の事業者に発注という形ではなく、自庁のプリンターをアウトソースで運用しているというようなイメージを持っていただければと思います。

特段に情報政策課として取りまとめということはしておりませんので、利用したい所属からの申請があった場合に取りまとめて印刷していただくという形をとっております。

そういう形になりますので、正直少量の差し替えの印刷などは特段に把握していないのですが、逆に何千枚以上じゃないと連続プリンターを使ってはいけないというようなルールも特にありませんので、小口であっても各事業課が使いたいということであれば、使っていただいているというような状態です。

また、データの受け渡しについてはこちらの庁内の常駐スタッフでやってもらっており、庁内のネットワークでそのまま受け渡しをやっているという形になりますので、本当に外に出ていくような運用にはなっていないという、かなりクローズドな形で提供しているというのが実態でございます。

簡単ですが、愛知県の状況としてはこのようなものになっております。

【議長】

ありがとうございました。

それでは議題3につきましては以上とさせていただきます。

●議題４　その他

【議長】

続きまして議題4その他に入らせていただきます。

何かご意見ご質問等がございましたら挙手をお願いいたします。せっかくの機会ですので何かありましたらよろしくお願いいたします。

では特にないようですので、次第4の次年度の当番市の決定について移りたいと思います。

次年度の当番市につきましては事務局の方からお願いいたします。

⑷　次年度当番市の決定

【事務局】

次年度の当番市についてでございますが、建制番号順によりまして、議長当番市は弥富市さんにお願いすることとなります。

弥富市さん、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局からは以上です。

【議長】

ありがとうございました。

それでは以上をもちまして私の議長としての役割を終えさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

⑸　閉会

【事務局】

織田課長様ありがとうございました。

これをもちまして、電算・情報関係部課長会議を閉会します。長時間にわたりありがとうございました。なお、お車でお越しの方は駐車券の押印をいたしますのでお申し付けください。またお帰りの際は事故等にはくれぐれも気をつけていただきお帰りください。

ありがとうございました。